

名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



特集

社会貢献活動をしている学生の活動報告や意見交換を行う発表大会「リンクトポス(全国公立大学学生大会)」のポスター発表にて、参加41大学のチームの中で、本学1年生のチームが最優秀賞を受賞しました!

名市大を体感! イベント盛りだくさん!

2018年 夏・秋イベント報告

- 01 特集
- 02 TOPICS
- 04 国際交流
- 05 受賞関連／教員著書・発行物紹介
- 06 学生の活躍
- 07 イベントカレンダー／寄附頭彰

DONATION

あなたの力が支えます。

ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：事務局総務課
tel.052-853-8005

名市大を体感! イベント盛りだくさん!

本学では、今年も夏から秋にかけて各キャンパスでさまざまなイベントを開催し、参加者の皆さまに名市大を体感してもらいました。

研究室での実験、大学生との交流、大学施設の見学など、大学生活の一端に触れ、学習への興味や大学進学へのイメージを膨らます機会となり、大好評でした!

(写真)「ようこそ大学へ!プロジェクト」で学生が子どもたちに夏休みの課題などを教える様子



夏休みイベント

ようこそ大学へ!プロジェクト

施設等で生活する子どもたちへの学習支援

2018.8.8 WED

■人文社会学部



学生80人が準備や当日のお手伝いなど企画に携わりました

社会的養護の下で生活する子どもたちの大学体験企画として「ようこそ大学へ!プロジェクト」を開催しました。2013年から毎年開催している本学と名古屋市による共同企画で、今年は小学生から高校生まで72人の子どもたちが参加しました。大学生と一緒に、教員の研究室を訪問したり(25研究室参加)、自由研究や実験、学生食堂を体験したりしました。

最先端研究を体験するイベント ひらめき★ときめきサイエンス

2018.8.9 THU・10 FRI・21 TUE

■大学院 医学研究科
■大学院 システム自然科学研究科



実験の様子

医学研究科による「がん細胞の観察や薬物による細胞への影響」、システム自然科学研究科による「筋肉の構造と機能」や「人工知能の進化の歴史や仕組み」に関する研究を体験するイベントが開催されました。愛知県内外の中・高校生計71人が参加し、「学校の授業では経験できない本格的な実験をすることができた」などの感想が寄せられました。

夏休み学習教室 つくってみよう!自分の未来図

2018.8.18 SAT

■経済学部



グループワークの様子

昨年度に引き続き「将来設計とそのために必要なお金」をテーマに、公募の中中学生31人が経済学部の学生と愛知銀行の若手行員のサポートを受けながら、お金に関する疑問などを理解し、自分の未来図(ライフプラン表)を作成しました。「自分の将来と必要なお金を考えるよい機会となった」などの感想が寄せられました。

薬学教室&おもしろ科学実験

瑞穂区役所との連携事業の一環として、小学5年生から中学生を対象に、薬学や理学の魅力を体験する教室を開催しました。

薬学教室 ■薬学部

2018.8.21 TUE



化学発光の実験



調剤体験

科学実験や薬の調剤実習を通して、薬剤師や薬学研究者の仕事に身近に感じてもらう催しを行いました。白衣に着替えた20人の子どもたちは、薬学部の学生から丁寧に手順を教わり、実験・実習に挑戦しました。

おもしろ科学実験 ■総合生命理学部

2018.8.23 THU



ミョウバンの結晶作りの実験



電磁誘導を利用した実験

総合生命理学部の学生によるサポートの下、物理の法則を利用した実験や工作を行いました。29人の子どもたちは、コップが消えてしまうなどの不思議な現象に目を輝かせていました。

秋のイベント

秋のオープンキャンパス、 大学祭NCU FES.2018を 各キャンパスで開催!

2018.10.20 SAT- 11.18 SUN

今年も、各キャンパスで秋のオープンキャンパスと大学祭が開催され、大勢の来場者でにぎわいました。

薬学祭



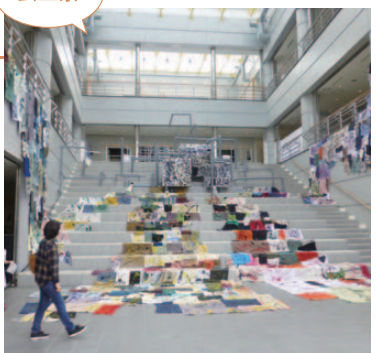
川澄祭



オープン
キャンパス



芸工祭



TOPICS

名古屋市立大学の最近のトピックス・主な出来事をご紹介します。

DATE 2018.10.1

「保健管理センター」がオープンしました！

2018年10月1日(月)、学生の健康の保持・増進のため、保健室・学生相談室の機能を拡充し、滝子キャンパス2号館1階に「保健管理センター」をオープンしました。

予約制により、カウンセラーによるよろず相談のほか、医師によるこころやからだの健康相談を行います。学生の皆さん、ぜひ気軽にご利用ください。



看板除幕後の記念撮影

■詳しい利用方法については、本学ウェブサイト「保健管理センターの利用案内」のページをご覧ください。

<http://www.nagoya-cu.ac.jp/education/healthcare/guide/index.html>

DATE 2018.10.6

医学部附属病院

地域全体で備える 災害訓練を実施しました

2018年10月6日(土)、職員・学生合わせて約250人参加の下、毎年行われている災害時の患者受け入れをスムーズに行うための訓練を実施しました。地域住民の方々が模擬患者として搬送され、区役所や消防署、警察署などの関係機関と連携し対応しました。今年度は新たに自衛隊に患者搬送のご協力をしていただき、本番さながらの緊張感で臨みました。



自衛隊による搬送直後のトリアージ

DATE 2018.8.6・8・22

「BLS week」を開催

※BLS…Basic Life Support

2018年8月6日(月)・8日(水)・22日(水)の3日間、学生や教職員を対象に胸骨圧迫やAED、人工呼吸などの一次救命処置の実践方法を学ぶ講習会「BLS week」を開催しました。救急科の松嶋部長がディレクターを、救命救急サークルMeLSCの学生(延べ51人)がインストラクターを務め、3日間で学生72人、教職員30人が合同で学びました。いざという時に一人でも多くの命を救えるように、今後も「BLS week」を毎年開催する予定です。



講習会の様子

DATE 2018.9.25・10.1

秋季卒業証書・ 学位記授与式および 入学式を開催！

大学教育のグローバル化、海外の学生が留学しやすい環境づくりの一環として、本学では大学院の秋季入学制度を導入しています。9月25日(火)の同授与式では修了生代表が将来に向けての決意を、10月1日(月)の同入学式では入学生代表が入学後の抱負を述べました。

DATE 2018.8.9

開学70周年記念事業の準備、続々進行中！

2020年の開学70周年に向け、2018年8月9日(木)に、第2回目の「開学70周年記念事業準備委員会」が開催されました。準備委員会では、記念事業のコンセプトを「明るい未来へ、七色の架け橋～名市大の果てしなき挑戦～」に決定し、学生会館のリニューアルやキャンパスごとの施設整備、財源となる寄附の募集方法や額などが議論され、それぞれ進めていくことが決定されました。

次回は12月に開催し、ロゴマークを決定する他、記念式典や年末の記念コンサートをはじめとする各種イベント、記念誌について議論する予定です。

学生会館のリニューアルイメージ



外観



2階

「あなたの声援で大きく羽ばたく名市大」 開学70周年記念事業に関する寄附のお願い

さらなる愛校心の醸成を図るとともに、開学100周年を見据えた「開学70周年記念事業」の実施のため、皆様からの温かいご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

ロゴマーク
投票実施！

詳しくは、本学ウェブサイト「開学70周年記念事業ロゴマーク投票」のページをご覧ください。



<http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/profile/memorial/70th-logo.html>



振込方法や免税措置など寄附金に関する詳しいご案内は、本学ウェブサイト「開学70周年記念事業」のページ内の寄附金の項目をご確認ください。

<http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/profile/memorial/70th.html>

学生会館等の
愛称・名称募集中！

詳しくは、本学ウェブサイト「開学70周年記念事業 学生会館等の愛称・名称公募」のページをご覧ください。



<http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/profile/memorial/70th-name.html>

DATE 2018.7.15

医学部

「学びなおし講座」出張講義 —Birth Tour 2018 in 伊勢—

2018年7月15日(日)、三重県伊勢市にて医学研究科産科婦人科学分野の尾崎康彦教授による、周産期医療の知識と技術向上を目的とした「学びなおし講座」出張講義—Birth Tour 2018 in 伊勢—が開催されました。学びあり、笑いありの充実した内容で、尾鷲市、松阪市など各地から集まった受講生からも「遠方の出張講義は嬉しい」、「また受講したい!」など次回の開催希望の声も聞かれ大変好評を博しました。



講座の様子

DATE 2018.10.23

研究成果の実用化を目指す! 「健康・医療 新技術説明会」を開催

2018年10月23日(火)、JST東京本部で開催した本説明会に、本学の他、大阪市立大学・岐阜薬科大学・静岡県立大学・横浜市立大学の4校が参加し、創業や医療・福祉に関連した10件の研究発表を行いました。本学からは、薬学研究科の山村寿男教授と山中淳平教授が参加し、発表後には企業と個別に意見交換を行いました。約120人の企業関係者が来場し、本学の研究成果を知っていただく絶好の機会となりました。



研究発表の様子

DATE 2018.7.31

名古屋市立大学×持田製薬株式会社 連携協力協定を締結

2018年7月31日(火)、持田製薬株式会社と連携協力協定を締結しました。今後、双方が有する研究資源や能力を有効に活用することで、循環器科、産婦人科、皮膚科、精神科、消化器科等の領域の発展に寄与していきます。

本学 郡健二郎理事長(左)、
持田製薬株式会社
水口清取取締役常務執行役員(右)



「イノベーション・ジャパン 2018 ～大学見本市 & ビジネスマッチング～」に出展!

2018年8月30日(木)・31日(金)の2日間、東京ビッグサイトで開催された「イノベーション・ジャパン2018 ～大学見本市 & ビジネスマッチング～」に、本学の医学研究科細胞分子生物学分野の金澤智学内講師、薬学研究科レギュラトリーサイエンス分野の頭金正博教授が出展しました。本イベントは、来場者が20,000人を超える国内最大規模の産学マッチングイベントで、本学の研究成果のPR、企業との情報交換、技術移転促進の良い機会となりました。



薬学研究科 頭金正博教授(手前)、
医学研究科 金澤智学内講師(奥)

DATE 2018.10.27-28

第15回 高校化学グランドコンテスト 最終選考会開催!

2018年10月27日(土)・28日(日)、本学では昨年度に引き続き二度目の開催となる同コンテストが、延べ1,000人を超える参加者を集め、田辺通キャンパスにて行われました。25都府県から過去最高の76校・124チームがエントリーしたほか、台湾とシンガポールからも3チームが招かれ、日ごろの研究成果の発表だけでなく、学生同士の交流などが盛んに行われました。



参加者による集合写真

国際交流

INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

意欲ある高校生が 大学での学びを体験 高大連携事業の 取り組み

本学では、意欲のある高校生に教育研究への理解と関心を深めてもらうために高大連携事業を進めています。その取り組みのうち高大連携授業（後期金曜5限）では今年度から試験に合格した場合に大学の単位を認定することとなりました。「興味のある分野を深く学びたい」「将来の大学進学に役立てたい」などの将来への展望をもった高校生が受講しています。

高大連携の主な取り組み

- 7/16(月)・10/8(月)
授業公開(海の日・体育の日)
教養教育・経済学部・人文社会学部・
芸術工学部から26科目
- 7/23(月)～8/30(木)
大学丸ごと研究室体験
医学・薬学・システム自然科学研究科から
35講座
市立高校生190人が参加
- 9/28(金)～2/1(金)全15回
高大連携授業
教養教育科目2科目
名古屋市内外の高校生13人が受講



大学丸ごと研究室体験の様子

DATE 2018.9.26

THE世界大学ランキングに ランクイン!

2018年9月26日(水)、イギリスの教育専門誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション(THE)」が発表した今年の世界大学ランキングで、本学は801-1000位にランクインしました。日本の大学の中では同率25位です。これは、教育力、研究力、研究の影響力、産業界からの収入、国際性の5分野によりランク付けをされています。本学では、ランキングの状況を踏まえ、教育力・研究力などのより一層の向上を図り、これからも世界をリードする大学を目指していきます。

タイ・プリンスオブソンクラーク大学と 大学間交流協定を締結!

2018年8月22日(水)、約43,000人の学生を有する大規模な国立大学であるタイのプリンスオブソンクラーク大学との大学間交流協定調印式が行われました。今回の締結により、海外の大学間交流協定校は41校となりました。また、両大学の紹介、人間文化研究科や薬学研究科の訪問、病院視察など、研究・教育の情報交換をし、更なる交流の契機となりました。



締結式で握手を交わすプリンスオブソンクラーク大学のニワット学長(左)と本学の都学長(右)

アジアから優秀な学生を招へい!

アジア地域と日本の科学技術発展のため、海外の優秀な人材を育成することを目的とした「さくらサイエンスプラン」により、学生と教員を招へいしました。

芸術工学部

2018年9月2日(日)から10日間、タイ国立プリンスオブソンクラーク大学・同附属高校の学生・教員14人が滞りました。3Dデジタル造形のワークショップやVR機器・モーションキャプチャーの体験、講演会など芸術工学部生とともに日本の最新技術に触れる機会を持ちました。



3Dデジタル造形のワークショップの様子

看護学部

2018年10月22日(月)から6日間、大学間国際交流協定校である国立モンゴル医科大学看護学部とパートナー大学公衆衛生学部(東ティモール)から学生・教員10人を招へいしました。根拠に基づく健康的なコミュニティづくりをテーマに、地域保健医療の現場で学び、本学の学生・教員とも交流を深めました。



看護学部2年生とのグループディスカッション後

看護学部

韓国ハルリム大学医学部看護学科学生の 短期研修!

2018年6月18日(月)から6日間、本学協定校の同大学から、学部生4人を受け入れ、韓国の看護事情のプレゼン、演習参加、病院実習などを行いました。また、本学の看護学部生もボランティア活動の一環として、キャンパスツアー、学生間交流パーティー、名古屋市内名所観光案内などを行い、学生間の交流を深めました。



学内演習の様子

医学部附属病院

薬剤部に海外の薬学生が訪問!

2018年8月23日(木)、日本薬学生連盟からの依頼により、アメリカ・オランダ・韓国・台湾・ポーランドからの留学生が、医学部附属病院薬剤部を見学しました。当院の業務活動を例に日本の病院薬剤師の職能を紹介し、各国の薬剤師の現状を比較するなど活発に意見交換を行いました。



留学生への説明の様子

看護学部

スリランカ スタディーツアーインターン報告会

2018年2月から8月まで、看護学部3年の川口紗英さん(写真中央)が、アジア保健研修所によるスタディーツアーのインターンシップに参加しました。NGOの活動現場である農村、漁村、紅茶農園でホームステイをして活動を見学するツアーの準備から報告集の編集までを担当し、職員と共に13人の一般参加者をサポート、10月8日(祝)にはアジア保健研修所において活動を報告し、学びを共有しました。



スタディーツアーでの記念撮影

大学院 薬学研究科

南京・名古屋・瀋陽薬学学術シンポジウム

2018年10月25日(木)・26日(金)の2日間、中国薬科大学(中国江蘇省南京市)を会場として、本学と瀋陽薬科大学、名城大学薬学部との共催で、第8回南京・名古屋・瀋陽薬学学術シンポジウムを開催しました。本学からは3人の教員と7人の大学院生が参加し、大学院生全員がそれぞれ口頭発表を行い、国際的な学術交流を深めました。



会場での集合写真

平成30年度 永年勤続職員表彰

※五十音順に掲載

長く、本学で勤め、支え続けていただいた皆様へ、心より深く感謝いたします。今後も健康にご留意いただき、ますますのご活躍をお祈りいたします。

■30年勤続表彰

 石川 美江 看護師長(病) 皆様に感謝します。 有難うございました。	 奥田 郁夫 教授(芸) 永年のご厚情に心から お礼を申し上げます。	 勝又 正直 教授(看) あっという間の30年で した。	 阪井 芳貴 教授(人) 熊谷直実ではないが、 30年はひとむかし。	 佐橋 朋代 看護師長(病) 皆様のご指導、ご支援に 感謝いたします。
 徳光 由佳里 助手(経) 夢を探る勇気を伝え続 けたいと思います。	 野中 壽子 教授(人) これからも研究・教育 に尽力して参ります。	 堀場 充哉 係長(病) 入社し30年、いろいろ なドラマがありました。	 水野 圭子 主幹(病) ありがとうございました。 今後も努力します。	 渡邊 なり子 看護師(病) 30年間支えて頂いた 方々に感謝しています。

■20年勤続表彰

- | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|
| 加賀 富士枝 理学療法士(病) | 永田 千恵 看護師長(病) | 平原 広登 看護師長(病) |
| 門間 晶子 教授(看) | 西尾 貴子 助産師(病) | 堀口 恭子 臨床検査技師(病) |
| 齋 藤子 看護師(病) | 長谷川 竜也 理学療法士(病) | 松川 則之 教授(医) |
| 鈴木 伴枝 看護師長(病) | 菱田 智美 看護師(病) | 山中 淳平 教授(薬) |
| 田中 多間 主事(事) | 飛田 秀樹 教授(医) | 山吹 美貴 看護師長(病) |
| 出口 将人 教授(経) | 平嶋 尚英 教授(薬) | 山本 恵美子 看護師(病) |



※(事):事務局 (医):医学研究科 (病):医学部附属病院 (薬):薬学研究科 (経):経済学研究科
(人):人間文化研究科 (芸):芸術工学研究科 (看):看護学部 (シ):システム自然科学研究科

国際共著論文プラス1運動表彰 / 高インパクト論文表彰

研究力の強化及び国際的な評価の上昇に関する機運を高め、世界大学ランキングの上昇を目指すべく表彰を行うものです。

■国際共著論文プラス1運動表彰(写真上)

国際共著論文数で特に顕著な業績を収めた研究者を表彰。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 医学研究科 教授 田中 靖人 | 芸術工学研究科 教授 青木 孝義 |
| 助教 田口 和己 | 看護学部 准教授 金子 典代 |
| 薬学研究科 講師 矢木 宏和 | システム自然科学研究科 准教授 青柳 忍 |
| 経済学研究科 准教授 樋口 裕城 | |



■高インパクト論文表彰(写真下)

特に影響力の高い論文を著した研究者を表彰。

- | | |
|----------------------------|---------------------------------|
| 医学研究科(筆頭)助教 鈴木 識裕 | 経済学研究科(筆頭・責任)准教授 坂和 秀晃 |
| (責任)講師 平野 佳男 | 人間文化研究科(筆頭・責任)教授 佐々木 みゆき |
| 医学研究科(筆頭)病院助教 飯尾 悦子 | 芸術工学研究科(筆頭・責任)准教授 張 景耀 |
| 薬学研究科(筆頭)講師 田上 辰秋 | 看護学部(筆頭)講師 杉浦 和子 |
| (責任)教授 尾関 哲也 | システム自然科学研究科(責任)教授 熊澤 慶伯 |



平成30年度 学長表彰

本学で教育、研究、社会貢献、管理・運営、診療等で顕著な業績を挙げ、本学の発展に尽くされた方を表彰するものです。

- 医学研究科 准教授 **岩田 欧介**
 医学研究科 講師 **澤田 雅人**
 薬学研究科 教授 **星野 真一**
 経済学研究科 教授 **中山 徳良**
 人間文化研究科 准教授 **曾我 幸代**
 芸術工学研究科 准教授 **原田 昌幸**
 看護学部 教授 **樋口 倫代**
 システム自然科学研究科 教授 **笹森 貴裕**



PRIZE 受賞

※受賞期間:2018年6月1日~2018年10月31日

■医学研究科



乳腺外科学分野
臨床研究医
片桐 悠介

愛知臨床外科学会
優秀演題賞

■看護学部



講師
杉浦 和子

The 10th Congress of the
Asian-Pacific Society on Thrombosis
and Hemostasis/ Poster Award



教員著書・発行物紹介

「カリキュラム・マネジメントと
授業の質保証~各国の事例の比較から~」



編著者:
人間文化研究科 教授
原田 信之

出版:2018年6月
北大路書房

「多職種で支える終末期ケア
~医療・福祉連携の実践と研究~」



編著者:
看護学部 准教授
原沢 優子
篠田道子氏
(日本福祉大学教授)
他との共編著

出版:2018年5月
中央法規出版

学生の活躍



英語発表会の様子

新英語科目「Action in English」
自分で企画・立案したプロジェクトを発表!

2018年7月18日(水)・19日(木)の2日間、教養教育の英語科目「Action in English」の英語発表会(Showcase)を実施し、この科目を履修する1年生ら140人が、自分たちが企画・立案した環境問題、芸術、異文化など多岐にわたるテーマのプロジェクトを、7つのブースに分かれ、アート作品、ショートムービー、ポスターなどさまざまな形式で発表しました。

芸術工学部

卓展を開催!

2018年8月17日(金)から19日(日)の3日間、卓展を開催しました。卓展は、芸術工学部の学生たちが多種多様なプロジェクト(卓)を立ち上げ、学科・学年の垣根を越えて卓を囲むように集まり制作した作品の展示会。多くの幅広い年齢層の方々に、学生たちの思いが詰まった作品が鑑賞されました。



卓展の様子

看護学部

元海外青年協力隊員とのフリートークタイム開催!

2018年5月9日(水)、国際保健看護サークルAGHは、JICAの元青年海外協力隊員を迎え、フリートークタイムを開催しました。隊員として東ティモールで活動した体験など、学生からのさまざまな質問に答えていただき、大変貴重な機会となりました。



フリートークタイムの様子

ソテツLIVE開催!

2018年4月に完成したソテツ広場で、学生会によるイベント「ソテツLIVE」を5月24日(木)から開催しました。軽音楽部、ダンス部カリクレイン、アカベラサークルAndanteなどの団体が出演。LIVE当日には多くの学生、職員が集まり、キッチンカーも出展するなど、大盛況でした。今後も開催される予定です。



6月14日(木)出演のダンス部カリクレイン

人文社会学部

「SDGs×名古屋市立大学」展示!

人文社会学部曾我ゼミの3年生が、SDGsとその達成のための教育(ESD)をカリキュラムに取り入れている本学の個性を表現した作品を制作し、滝子キャンパス1号館1階に展示しました。ぜひ、ご覧ください。

SDGsとは?

SDGs(Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)とは、17の目標、169のターゲットから成る、国連で国際合意に達した2016年から2030年までの世界の長期目標です。



人文社会学部曾我ゼミの3年生が作品前で記念撮影

就活体験を先輩から後輩へ!
「LiNC(リンク)」始動!

2020年卒業予定の就職活動生をサポートしようと、就職活動を終えた現4年生が中心となる自主団体「LiNC」が、今年度も活動を開始しました。7月25日(水)に第1回セミナー「企業の選び方講座、業界別座談会」を開催し、先輩たちの実体験が今後の後輩たちの活動に生かされています。



LiNCセミナー

人文社会学部

人文社会学部の1年生が議員研修で
講師を務めました!

一若者によるまちづくり

2018年8月8日(水)、人文社会学部1年のダルモ・マイケルさんと中谷唯人さんが、知多北部議長会が主催する議員研修会で講師を務めました。テーマは「若者によるまちづくりの意義と可能性」。参加した東海市・大府市・知多市の議員など100名ほどの参加者からは、「二人の将来が楽しみ」などの感想が寄せられました。



写真左から、人間文化研究科 三浦哲司准教授、人文社会学部1年 ダルモ・マイケルさん、人文社会学部1年 中谷唯人さん

人文社会学部

「山の畑プロジェクト」
サツマイモを収穫!

2018年10月25日(木)、滝子(山の畑)キャンパスで始まった「山の畑(はたけ)プロジェクト」で6月に植えられたサツマイモを、学生が地域の子もたちとともに収穫しました。収穫されたサツマイモは、滝子キャンパスでの大学祭「市大祭」で販売され、その収益は、本学生と地域住民の交流活動の資金にあてられます。



収穫後の記念撮影



ゴルフ部で記念撮影

第70回
西日本医科学生総合体育大会
ゴルフ部(男子) 2連覇

イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
12.22 SAT 2018	サステナビリティ・リレーションポジウム 高校生・大学生によるESD(持続可能な開発のための教育)に関わる研究活動の発表など	13:00~17:30 滝子(山の畑)キャンパス1号館201教室ほか 費用:無料 定員:先着100人	申込不要
1.10 THU 2019	名古屋市立大学・中京大学 連携講演会 テーマ:金融政策と地銀の統合 ~市民のくらしへの影響~ 講演者:名古屋市立大学 経済学研究科 教授 岡野 衛士 中京大学 経済学研究科 教授 小林 毅 氏	13:30~15:30 桜山(川澄)キャンパス 医学部附属病院 病棟・中央診療棟3階大ホール 費用:無料 定員:先着300人 インターネット(名古屋電子申請サービス)またはメール、FAX、往復はがきに住所・氏名・年齢(○才代)・電話番号・メールアドレス(メールの場合)・FAX番号(FAXの場合)をご記入の上、お申し込みください。 (席に余裕があれば、当日受付も可) メール:kokaikoza@sec.nagoya-cu.ac.jp FAX:052-841-0261 〒467-8601 名古屋瑞穂区瑞穂町字川澄1 名古屋市立大学事務局学術課 公開講座担当	
2.19 TUE-24 SUN	芸術工学部 卒業・修了制作展	市民ギャラリー矢田・北千種キャンパス 費用:無料 ※詳しくは芸術工学部 学部サイトで順次公開します。http://www.nagoya-cu.ac.jp/sda/	申込不要

名古屋市立大学交流会

開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
2.17 SUN 2019	平成30年度 総会・講演会・懇親会 講演者:演出家・映画監督 堤 幸彦 氏 テーマ:映像制作の現場から ~地元東海への想いを込めて~ 対象者:同窓生、現・旧教職員、学生など本学関係者	開場:14:30 総会・講演会:15:00~17:00 懇親会:17:00~19:00 名古屋マリオットアソシアホテル 費用:10,000円(懇親会費) ※現役学生(社会人の大学院生を除く)・2017年度卒業生は無料	交流会HP、メール、またはFAXにてお申し込みください。 http://www.koryukai.jp メール:koryukai@sec.nagoya-cu.ac.jp FAX:052-841-6201 申込期限:2019年1月30日(水)

名古屋市立大学×名古屋科学館 サイエンスパートナーシップイベント「生命科学研究への扉」

開催日	内容	時間・場所・費用・定員・対象	申込方法
12.9 SUN 2018	テーマ:「線虫×ロボット顕微鏡×人工知能」で、 脳の秘密を明らかにする 講演者:システム自然科学研究科 教授 木村 幸太郎 テーマ:「ものを見せてくる過程」~研究することの魅力と感動~ 講演者:医学研究科長 道川 誠 テーマ:「生命科学を身近に感じる「きっかけ」を科学館で」 講演者:名古屋科学館 学芸員 堀内 智子 氏 ※そのほか、研究者・学芸員との交流会などもあります。	13:30~16:00 名古屋科学館生命館地下2階 サイエンスホール 費用:無料 定員:先着100人 対象:高校生(中学生・同伴の保護者も参加可能)	往復はがきまたはメールにてお申し込みください。往復はがきの場合は本文に、メールの場合は件名に、「生命科学研究への扉」と記載の上、①参加者全員の氏名(ふりがな)②学年③年齢④返信先メールアドレス(メールでの申し込みの場合)⑤電話番号を記載しお申し込みください。 ※保護者同伴の場合は、どなたが保護者であるかも明記してください。 メール:kanri-jimu@sec.nagoya-cu.ac.jp 〒467-8501 名古屋瑞穂区瑞穂町字山の畑1 名古屋市立大学山の畑事務局管理係

サイエンスカフェ in 名古屋

開催日	内容	時間・場所・費用・定員	申込方法
12.21 FRI 2018	第138回 「ウイルスのふしぎ」 講師:システム自然科学研究科 教授 鈴木 善幸	18:00~20:00 中区栄 ナディアパーク内 デザインセンタービル7階 7th cafe(セブンスカフェ) 費用:600円(飲み物+お菓子) 定員:各回先着30人	お名前・ご住所・ご希望の回(開催日)をご記入の上、お申し込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-3461 FAX:052-872-1531 ※開催日の1カ月前から、次回開催分の受付を開始いたします。 詳しくはサイエンスカフェ in 名古屋のウェブサイトをご覧ください。 http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/index.html
1.18 FRI 2019	第139回 「細菌が地球大気に影響を与えるって?!」 講師:システム自然科学研究科 准教授 櫻井 宣彦		

寄附顕彰 大学振興基金・名市大生みらい応援基金へのご寄附ありがとうございました。

大学振興基金

■個人

10万円以上 齊藤 道夫 様、佐々木 昌一 様、日比野 充伸 様、松本 可奈子 様、村上 信五 様
5万円以上 荒木 一郎 様、今泉 祐治 様、宇野 八千代 様、大原 弘隆 様、河合 米子 様、高田 宗明 様
1万円以上 亀井 信子 様、小島 京子 様、榎原 茂 様、篠田 憲幸 様、島崎 芳明 様、千手 博文 様、田中 創始 様、田中 雅子 様、
田中 道子 様、土井 幸司 様、永坂 博彦 様、中根 邦雄 様、橋本 雅司 様、松村 正 様、御供 泰治 様、村井 清 様
5千円以上 東あゆみ 様、岩垣 重秋 様、上原 章孝 様、榎原 弘喜 様、島野 泰暢 様、瀧口 修司 様、野村 真一 様、花之内 基夫 様、
三浦 あさ子 様、山田 耀子 様
非公表 赤津 裕康 様、薮隆文 様、今村 篤 様、岩田 芳幸 様、江崎 健司 様、風間 裕子 様、片岡 洋望 様、兼松 孝好 様、
亀田 匡史 様、熊谷 真好 様、古賀 由紀子 様、澤田 昂毅 様、柴原 正子 様、鈴木 博 様、高橋 睦治 様、永井 盛人 様、
長澤 進 様、野村 和生 様、林 俊文 様、林 好寛 様、原沢 優子 様、土屋 公行 様、平馬 康夫 様、本田 惠美子 様、
眞下 啓二 様、松井 宣夫 様、水谷 良雄 様、森田 明理 様、與那覇 孝 様

■団体

10万円以上 社会医療法人聖泉会 聖十字病院 田伏 英晶 様
5万円以上 医療法人 八事の森 理事長 森 亮太 様
1万円以上 社会福祉法人 むつみ福祉会 様
非公表 医療法人研精会 豊田西病院 理事長 坪井 重博 様、医療法人社団崇輝会 志太眼科 様、
医療法人ふれあい会 理事長 政本 進午 様、名古屋市立大学リハビリテーション医学分野 様

※五十音順。2018年7月1日から9月30日までに寄附いただき、公表に同意された方。 ※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。 ※古本募金によりご寄附いただいた方につきましては、提携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

名市大生みらい応援基金

■個人

10万円以上 日比野 充伸 様
5万円以上 高田 宗明 様、早川 富博 様
1万円以上 篠田 憲幸 様、千手 博文 様、中根 邦雄 様、
橋本 雅司 様、村井 清 様
5千円以上 伊藤 朋文 様、岩垣 重秋 様、島野 泰暢 様、
瀧口 修司 様
非公表 今村 篤 様、岩佐 充二 様、岡本 浩 様、
永井 盛人 様、長澤 進 様、野村 和生 様、
林 好寛 様、平馬 康夫 様、堀本 惠子 様、
政本 進午 様、眞下 啓二 様、松井 宣夫 様、
安田 陽子 様、余財 克友 様

■団体

5万円以上 医療法人 八事の森 理事長 森 亮太 様
1万円以上 医療法人 双樹会 河合 米子 様
非公表 医療法人社団崇輝会 志太眼科 様
医療法人ふれあい会 理事長 政本 進午 様

募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想を
ぜひ事務局企画広報課までお寄せください!
E-mail:ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp

本学教職員の 皆さんへ

広報誌「創新」に掲載したい情報はE-mailで、
広報に関する報告・相談は教職員限定サイト「広報ホットライン」
をご活用ください。